

宮地岳線ニュース 2006. 12. 19. 発行

■ 福津市長、宮地岳線問題で住民に弁明

12月5日（火）、福津市主催、宮地岳線一部廃止に伴う経過報告会が、カメリアホールで開かれました。福津市が第三セクターでの鉄道の存続を目指すも、他の自治体と足並みがそろわず、福岡県からの財政的援助や、西鉄からの低額売却もなく、諦めざるを得なかった経緯が説明されました。

存続運動が起こり、6万人以上の署名が集まったにも関わらず、このような結果に終わったことについては、池裏順文市長から、市民の皆様には大変申し訳ないことをしたので、お詫びをしたいとの言葉がありました。

会場に集まった100名余りの住民からは、活発に意見や質問があり、代替バスの路線についての経過説明もありましたが、まだ納得のいくものではないという声が多く聞かれました。

尚、この報告会には、福津市の行政側から、福岡県と西鉄の関係者にも出席を求めていましたが、どちらも来られませんでした。

■ 存続を求める会 福津市長に要望書を提出！

12月11日（月）、当会では、宮地岳線の廃止時期延期を求める要望書を、福津市長に対し、提出しました。

第三セクターは諦めるにしても、JRの駅周辺が整備されるまで、廃止時期を延期をすることはできないのでしょうか。今のところ、西鉄からの返事はノウです。このまま3月末に廃線を迎えると、4月からの駅周辺工事と、JRの利用客増加が重なり、混乱を避けるのは難しい状態です。市長には、最後まで諦めず、延期のための交渉を続けてほしいと望みます。

■ 廃止延期の可能性は？

西鉄宮地岳線が、このまま来年4月に廃線になると、通学通勤時間帯にJR福間駅に自家用車、バス、自転車、人が集中し、交通渋滞、事故の危険が増大します。当会では、西鉄に対し、公開質問状を、福岡県知事に対し、要望書を提出し、廃止時期延期を求めます。尚、当会で実施しました交通調査の結果は次の通りです。

西鉄宮地岳線乗降客数調査

実施日：10月30日（月）午前5時30分～9時。

西鉄福間駅 148名、宮地岳駅 144名、津屋崎駅 301名、
(通常、約170名の水産高校生が加わります。) 合計約760名。

JR福間駅前 送迎の自動車台数調査

実施日：11月6日（月）、午前5時～6時 40台、

午前6時～7時 317台（うちバス5台）、午前7時～8時 395台（うちバス10台）、

午前8時～9時 230台（うちバス7台） 合計982台

午前9時現在 駅横駐車場駐車台数 123台 合計1105台

尚、駅前駐車場は、3月末に閉鎖されます。

高校生の乗車状況

津屋崎駅、降車する高校生、約170名、

乗車する高校生、75名、

うち自転車で来る者、46名、クルマ椅子、1名。

宮地岳駅、乗車する高校生、35名、

福間駅、乗車する高校生、9名。3駅を利用する高校生は、合計約300名。

宮地岳線の存続を求める会
会長：古原拓治
事務局：福津市在自1581-18